

令和3年度 県民まちなみ緑化事業の取組状況（報告）

県民緑税（第4期）を活用し、住民団体等が実施する植樹や芝生化等の緑化活動に加え、
校園庭の芝生化や都心緑化を支援。特に、県民が緑の効果を実感できる公的空間でのシン
ボル性の高い緑化を推進した。

1 第4期事業の主な拡充内容

- ・人口集中地区での緑化の最小補助面積を 30 m²に引下げ
- ・まちの中心部で市町と住民団体等が協働で緑化・維持管理を行う「まちなか花壇事業」を創設
- ・容易に緑が創出できるプランターによる緑化を支援（補助限度額 30 万円/基）
- ・校園庭の芝生化の補助限度額を県内校園庭平均面積相当の 800 万円に引き上げあわせて、井戸整備費は実費相当額を補助（補助限度額 60 万円）

2 募集期間 令和3年4月1日から11月30日まで（募集終了）

3 対象地域 市街化区域及び緑条例のまちの区域等

（校園庭の芝生化は全県、都心緑化は人口集中地区内の駅周辺が対象）

4 事業概要

区 分		補助対象経費	最小規模※	限 度 額
一般緑化	住民団体が公共用地で実施	資材費及び自らによる施工が困難な施工費 （プランター緑化上限：30万円/基）	30 m ²	400 万円/件
	個人・法人等が実施	全体経費×1/2 以内 （プランター緑化上限：15万円/基）	100 m ² （30 m²）	250 万円/件
ま ち な か 花 壇	市町が公共用地で実施	市町：緑化基盤整備費×1/2 以内	30 m²	400 万円/件
	（住民団体等が植栽・維持管理を実施）	住民団体等：緑化資材費		
校園庭の 芝 生 化	住民団体が学校・幼稚園・保育園等で実施	資材費及び芝張り経費を除く施工費	30 m ²	800 万円/件
		初期施設等費用加算（井戸）	—	60 万円/件
		初期施設等費用加算（ポットアップ式プランター等）	—	140 万円/件
	上記以外	全体経費×1/2 以内	100 m ² （30 m²）	500 万円/件
		初期施設等費用加算（井戸）	—	30 万円/件
初期施設等費用加算（ポットアップ式プランター等）	—	70 万円/件		
ひろばの 芝 生 化	住民団体が公共用地で実施	資材費及び芝張り経費を除く施工費	30 m ²	400 万円/件
	個人・法人等が実施	全体経費×1/2 以内	100 m ² （30 m²）	250 万円/件
駐車場の 芝 生 化	住民団体が公共用地で実施	資材費及び施工費（上限：資材費×1/4）	100 m ² （30 m²）	375 万円/件
	個人・法人等が実施	全体経費×1/2 以内		250 万円/件
屋上緑化 壁面緑化	住民団体、個人・法人等が実施 （一般県民が立ち入り可能な場所に限定）	全体経費×1/2 以内	100 m ² （30 m²）	250 万円/件 又は 75 万円/件
都心緑化	協議会が人口集中地区内の駅周辺等で実施	全体経費×1/2 以内	1,000 m ²	2,500 万円/件

※**ゴシック**は、第4期拡充内容

※（ ）内は、人口集中地区

県民まちなみ緑化事業 令和3年度実績見込み (R4.1時点)

1 実施状況

(1) 事業メニュー別補助実績

緑化種別	件数(件)		
	R3	R2	対前年比
一般緑化	123	99	124%
まちなか花壇	4	—	—
校園庭の芝生化	29	30	97%
ひろばの芝生化	41	47	87%
駐車場の芝生化	49	62	79%
屋上・壁面緑化	2	0	皆増
都心緑化	0	0	—
合計	248	238	104%

(2) 県民局別補助実績

県民局	件数 (件)		
	R3	R2	対前年比
神戸	58	28	207%
阪神南	14	22	64%
阪神北	20	16	125%
東播磨	34	35	97%
北播磨	10	18	56%
中播磨	41	41	100%
西播磨	30	29	103%
但馬	9	10	90%
丹波	14	18	78%
淡路	18	21	86%
合計	248	238	104%

まちなか花壇の実施事例について

OR3 実施地区 4 地区

1 神戸市中央区

- ① 補助年度 令和3年度
- ② 申請者 神戸市
- ③ 実施箇所 緑と彫刻の道（3箇所）
- ④ 緑地面積 141.1㎡



2 明石市小久保

- ① 補助年度 令和3年度
- ② 申請団体 明石市
- ③ 実施箇所 JR西明石駅（新幹線口ロータリー）
- ④ 緑地面積 51.0㎡



3 神戸市中央区

- ① 補助年度 令和3年度
- ② 申請団体 神戸市
- ③ 実施箇所 ポートアイランド（みなと空港線）
- ④ 緑地面積 76.0㎡



4 姫路市駅前町

- ① 補助年度 令和3年度
- ② 申請団体 姫路市
- ③ 実施箇所 JR姫路駅（北駅前広場）
- ④ 緑地面積 プランター11基



プランター緑化 実施事例について

OR3 実施箇所 6 箇所 121 基

1 元町商店街（神戸市中央区）

- ① 補助年度 令和3年度
- ② プランター設置基数 55 基



2 大正筋商店街（神戸市長田区）

- ① 補助年度 令和3年度（令和2年度も実施）
- ② プランター設置基数 19 基（R2：40 基）



3 六軒道商店街（神戸市長田区）

- ① 補助年度 令和3年度
- ② プランター設置基数 3 基



4 板宿本通、文映商店街（神戸市須磨区）

- ① 補助年度 令和3年度
- ② プランター設置基数 29 基



5 伊丹サンロード商店街（伊丹市）

- ① 補助年度 令和3年度
- ② プランター設置基数 4 基



6 姫路駅前広場（まちなか花壇により実施）

- ① 補助年度 令和3年度
- ② プランター設置基数 11 基



マスコミで紹介された県民まちなみ緑化事業

○里自治会（加古川市）

加古川 加古川と深いゆかりのあるオリーブの木を、古里のシンボルに。地元への愛着を深めようと、加古川市平荘町皇の丘陵地に、オリーブの苗木100本が植えられた。市民団体と里町内会、東播工業高校（同市東神宮町神志）の3者が協力。今後は町内会を中心に手入れを続け、5年後に成長したオリーブの実を採る「収穫祭」の開催を目指す。（広瀬啓理）

地元団体や東播工業高 平荘に苗木100本植樹

オリーブの木 地域の象徴に

日本産とされるオリーブは、地中海沿岸に多く分布する。日本には、本州の南端、鹿児島県にのみ分布する。オリーブは、果実が熟すと黒くなる。果実を乾燥させてオリーブオイルを搾る。オリーブは、果実が熟すと黒くなる。果実を乾燥させてオリーブオイルを搾る。

5年後に「収穫祭」目指す

この地を、現代の環境活性化に貢献する。加古川市平荘町皇の丘陵地に、オリーブの苗木100本が植えられた。市民団体と里町内会、東播工業高校（同市東神宮町神志）の3者が協力。今後は町内会を中心に手入れを続け、5年後に成長したオリーブの実を採る「収穫祭」の開催を目指す。



町内会には、オリーブの苗木100本が植えられた。市民団体と里町内会、東播工業高校（同市東神宮町神志）の3者が協力。今後は町内会を中心に手入れを続け、5年後に成長したオリーブの実を採る「収穫祭」の開催を目指す。

(R3. 11. 22 神戸新聞)

○JR 西明石駅前 まちなか花壇事業 (51 m²)

地元まち協のゆるキャラ「花ちゃん」も登場し、花壇の完成を祝ったセレモニー—明石市小久保2

新幹線玄関口を華やかに 西明石駅前に花壇

新幹線の停車駅を併設し、県外から訪れる人の「玄関口」となるJR西明石駅（明石市小久保2）を明るく、南側ロータリーに花壇が整備され、5日、現地で完成セレモニーがあった。地元団体や行政、鉄道関係者ら約30人が集まり、さらなるにぎわい創出に期待を寄せた。街の緑化を推進する県と市の事業で、ロータリーの3カ所にレンガ造りの花壇計約50平方メートルを整備。先月下旬にはスイートアリッサムやピオラなど約10種類約1600株を住民らが植えた。

花壇区まちづくり協議会が開いた完成式典では、ガーデンシクラメンが鮮やかなピンクや赤の花を咲かせる花壇を前に、小久保町内会の古井義雄会長（71）があいさつ。「県と市からの提案に、地元で花の世話が出来るか不安だったが、これだからスタート。『きれいだね』と言ってもらえるよう頑張りたい」と抱負を述べた。

今後は住民有志16人がグループを組み、日頃の手入れや年3回の花壇の植え替え作業などを担っていくという。（松本寿美子）



(R3. 12. 6 神戸新聞)